

簿記検定の種類

日本商工会議所主催 簿記検定（日商簿記検定）

一般企業において簿記検定といえばこの日商簿記検定のことをいいます。日商簿記検定は簿記検定の中で最もレベルの高い検定試験で、日商簿記検定を取得すると、税理士や公認会計士の受験勉強へとスムーズに移行することができます。

1 検定の級

- 1級 税理士、公認会計士などの国家試験の登竜門として位置付けられています。大学程度の知識が必要で、1級を取得すると、税理士試験の受験資格を得ることができます。よく「高校生が新聞に1級合格しました！！」と載っているのはこの日商簿記検定の1級のことです。1級は一橋大学・中央大学・名古屋市立大学等の難関大学の推薦出願条件にもなっています。
- 2級 高校程度の商業簿記および工業簿記（初歩的な原価計算を含む）を修得しているレベルの検定試験です。しかし、年々レベルが高くなってきていますので、基礎からじっくりと時間をかけて勉強していく必要があります。
- 3級 財務担当者に必要とされる基本知識が身につく、商店・中小企業の経理事務に役立ちます。経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から理解できることを目標とする級です。

2 検定日

日商簿記検定は、年に3回実施されます。

- 6月 第2日曜日（1～4級）
- 11月 第3日曜日（1～4級）
- 2月 第4日曜日（2～4級）

全国経理学校協会主催 簿記能力検定（全経簿記検定）

全経上級は全国経理学校協会の主催する簿記検定の最高峰に位置し、その合格は日商1級と同様に、税理士試験の受験資格にもなり、社会的にも高い資格となっています。

1 検定の級

この検定は3級から上級まで4段階に分かれており、有利な就職・進学等にも大変有利な検定です。

2 検定日

全経簿記検定は、年に3回試験が実施されます。

2月第3日曜日（上級～4級）

7月第2日曜日（上級～4級）

11月第2日曜日（1級～4級）

全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定

（全商簿記検定）

全商簿記検定の資格は、高等学校の教科書に示されている内容に準拠して出題されています。基礎的な問題が多く、合格率も高い検定です。

1 検定の級

この検定は3級から1級までの3段階です。ただし、1級は「会計」と「原価計算」の2つに分かれているため、両方に合格して初めて合格となります。

2 検定日

1月 第3日曜日

6月 第4日曜日

年に2回しか実施されず、前の2つの検定試験と比べると検定の回数は少ないですが、この検定は簿記の基礎力を確かめる検定なので、前の2つの検定よりも難易度は低くなっています。